

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	夢門塾ゆうゆう浅口		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 1日		2025年 12月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	61	(回答者数) 41
○従業者評価実施期間	2025年 12月 1日		2025年 12月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 10日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別支援計画に基づいた支援が丁寧に行われており、アセスメント・モニタリング・記録が一貫して実施されています。児童発達支援管理責任者を中心に、子どもと保護者のニーズを踏まえた計画立案ができている点は大きな強みです。	視覚支援や構造化環境づくりを行い、各部屋の役割を明確にし、分かりやすい環境設定を行っています。安全面にも配慮し、足元に物を置かないなどの工夫をしています。	フォーマルアセスメントの導入を検討し、より客観的評価に基づく支援につなげます。
2	専門職(作業療法士)を中心とした運動支援の質が高く、子ども一人ひとりの身体の使い方や特性に合わせた支援が提供されています。運動療育に強みを持つ事業所です。	活動プログラムが固定化しないよう、職員間で話し合いながら新しいプログラムを取り入れています。飽きさせない工夫がされています。	家族参加型の研修やイベント機会を増やし、家族支援の充実を図ります。
3	保護者との情報共有が丁寧で、コドモンや連絡帳、面談を通じて日々の様子を伝え合っています。「安心して通えている」「先生が丁寧」という満足度の高い声が多く見られます。	日々の打ち合わせや振り返り、記録共有を通じてチーム支援体制を整えています。PDCAサイクルが機能しています。	学習面の支援について、保護者ニーズを踏まえながら支援方法を工夫していきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	個室がなく、クールダウンや個別対応の空間確保に課題があります。静かな環境提供が難しい場面があります。	施設構造上、収納や空間確保に限界があります。	空間の使い分けやパーティション活用など、落ち着ける環境づくりを進めます。
2	人員体制に余裕があるとは言えず、専門職の役割を十分に発揮するための体制強化が課題です。	人員配置やスキルのバランスにより、個別対応に制約が出る場合があります。	職員のスキルアップを図り、個別支援力を高めます。
3	学習支援について「もう少し見てほしい」という保護者ニーズがあります。	運動療育中心のため、学習支援に割ける時間が限定されます。	学習支援はスモールステップで成功体験を積める支援を継続し、ニーズに応じていきます。